

# マリンバデュオコンサート



2019年12月15日「マリンバデュオコンサート」を開催しました。出演は上尾市在住の小針彩菜さんと、小針さんの大学時代からの親友・小西沙帆さん。

小針さんは今年9月にイタリアの国際打楽器コンクールのマリンバ部門で見事優勝。このコンサートは凱旋公演となり、ホールには満員のお客様が詰めかけました。

2時間に及ぶマリンバ公演を、どうしたらお客様が飽きずに楽しんでいただけるか、出演者のふたりは試行錯誤を繰り返してきました。



1台のマリンバを両側から演奏する「2+1」で劇的に幕を開けたコンサートは、向かい合わせにした2台のマリンバを叩き合う「Octabones」等、難易度の高い楽曲を体現する高度な演奏力で観客を惹き付けます。



小針さん作曲の「夕日の沈む瞬間(とき)」では、小針さんの得意とするエモーショナルな演奏を披露。情感豊かな表現力と圧倒的な表現力で感動を誘います。

1部最後の曲はイタリアのコンクールで小針さんが優勝を決めた「Marimba Spiritual」。小西さんの見事な太鼓とのコラボレーションは、前半の締めにあつさわしいハイライトとなりました。





2部の幕開けは、小西さんのソロ「Rimbasyly」。  
無機質な打ち込みと、木のぬくもりのあるマリンバの絶妙なブレンドを感じていただけたのではないのでしょうか。

続く「African Blues」。マリンバ発祥の地、アフリカではかつて音で会話をしていたとか。客席後方から出てきたふたりに開場は大盛り上がり。小針さんと小西さんの2人も演奏しながら音の会話も楽しんでいたようですよ。



第2部のハイライトはクラシックメドレー。マリンバ2台のほか、シロフォン、ヴィブラフォン、グロッケンを使用し、アスリートのようにステージを駆け巡る2人に惜しみない拍手が送られました。



本編ラストは、「タンゴ組曲」。数年前に演奏した際は技術的な問題から第2楽章までしか演奏できなかったというふたり。今回は見事に第3楽章まで完奏しフィナーレ。感動の終演となりました。



本編終了後、鳴りやまぬ観客からの拍手に、アンコールへと突入です！！



アンコールはクリスマスメドレー。観客のみなさんと「きよしこの夜」を合唱。ふたりも演奏を楽しみながら、お客様の顔を見てうれしそうに微笑んでいました。



「クリスマスメドレー」が終わり、ふたりが舞台袖に消え、これで終演と思ったその時、ふたりが駆け足でステージに戻ってきました！



最後の最後に披露したのは「熊蜂の飛行」。めまぐるしく2人が入れ替わる怒涛のアレンジが披露されました。最後にこんな大技が見られるとは！！



ご来場いただいた皆様  
ありがとうございました♡

息のあった演奏で感動を与えてくれた親友のふたり。この公演を迎えるにあたっての気合いは、並々ならぬものがありました。

手のマメがつぶれ、腕が動かなくなるほど夜遅くまで練習を続けた小針さん。世界大会で優勝してもなお、日々の努力をやめないその姿は、胸を打つものがありました。

公演の大成功、おめでとうございます！

これからも素晴らしい演奏と最高の笑顔で、我々に感動を届けられることでしょう。今後のご活躍に期待しています！